

3

One day, a man and a donkey were walking down a forest path.

The donkey was pulling a carriage.

On that carriage, there was a huge god statue made of copper.

The man and the donkey were on their way to a town's shrine to deliver the statue.



5

They eventually got to the town with the shrine.

While they were walking down the town's streets, everyone who passed by, put their palms together and bowed deeply to the donkey.





あるひ、もりの なかの こみちを、  
ひとりの おとこと、いっとうの 口バが  
あるいていました。

口バは、にぐるまを ひいていました。

その にぐるまには、どうで できた、  
おおきな かみさまの ぞうを  
のせていました。

おとこと 口バは、この ぞうを  
まちの しんでんに とどける  
とちゅうだったのです。



やがて、しんでんのある  
まちに つきました。

おとこと ロバが  
まちの かいどうを あるいていると、  
すれちがった ひとびとが、  
みな ロバに むかって  
てを あわせたり、  
ふかぶかと あたまを さげたり  
してきました。

